

(公財)京都市森林文化協会	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

基本事項

所管局課	産業観光局農林振興室林業振興課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	公益財団法人として掲げる森づくり事業やイベント事業、森林体験支援事業等の各公益目的事業の推進と一体的に、宿泊休養施設をはじめ各収益施設の利用者数の増加を目指す。
財務面	経営の安定化を図るため、収益事業等を中心に独自収入を増加させ、安定した経営を目指す。
組織面	公益目的事業を専門的に担える人材を育成するとともに、各事業の運営状況に合わせて適切な職員配置を行う。
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>公益財団法人として掲げる森づくり事業に専門的技術を活用し実施する点が評価できる。専門的技術を担える人材を団体内において更に確保・育成していただきたい。</p> <p>一般正味財産のマイナスは解消されてはいるが、これを安定化させるためにも、国定公園を活用したイベント事業の内容見直し等を行い、利用者数の増加を目指していただきたい。</p>
-----	---

当年度の取組に対する総括

団体(※)	経常収益は前年度より減少したが、効率的な経営に努めたことで、経常増減額は増加した。SNSなどによる情報発信やきめ細やかな料金設定を行うこと等を通して、山村都市交流の森利用者の増加を目指した。
所管局(※)	市有林保護巡視等業務などの森林管理に対し、専門的な知識、技術を活用して実施していただいた。イベント事業の見直しだけでなく、誘客活動にも積極的に取り組み、利用者の増加に努めた。
外郭団体総合調整会議(※)	宿泊施設利用者等が伸び悩む中で、経費節減の努力により黒字を維持している。魅力あるイベント等の開催や積極的な広報活動等により、利用者数増加に努めて、引き続き、経営の安定に取り組んでいただきたい。

(公財)京都市森林文化協会	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(1)業務に関する取組

目標「山村都市交流の森利用者の拡大」	
中期経営計画 における取組	<p>京都市北部山間地域における豊かな自然や山村文化を積極的に活用し、都市住民への魅力発信により、山村都市交流の森の利用者拡大を図る。 特に、国定公園の指定を機に、新たな取組を検討、展開し、収益施設の利用者拡大につなげる。</p>
当年度目標	<p>トレイルランニングやトレッキング等のイベント事業以外に、当協会が進める魅力ある森づくりのための、自然配植技術等を活かした研修や環境教育等の利用拡大を図る。 また、国定公園の指定に合わせ、北部山間地域と山村都市交流の森の情報発信に努め、入園者の増加を目指す。</p>
当年度結果 (※)	<p>交流の森入園者は、前年度より若干減少し収益施設の利用者も減少した。このため収益事業の収益も減少している。特定の日に利用者が集中し駐車場の確保が困難なことも入園者の減少に影響していると思われる。必要とされる施設の修繕を進め、山村都市交流の森と収益施設の利用拡大を今後も進める。</p>

指標①	山村都市交流の森入園者数 (単位：人)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		33,000		34,000		35,000
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	32,000	39,299	33,000	38,594	35,000	—	37,618

指標②	宿泊施設利用者数 (単位：人)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		11,000		12,000		13,000
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	10,000	12,453	11,000	12,451	13,000	—	9,960

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	82,522	121,803	83,000	120,238	83,000	114,005	
経常費用	80,962	119,020	81,000	110,516	81,000	103,422	
当期経常増減額	1,560	2,783	2,000	9,722	2,000	10,583	
当期正味財産増減額	1,560	5,472	2,000	7,925	2,000	8,785	
資産合計	—	124,259	—	127,616	—	123,054	
負債合計	—	43,810	—	39,242	—	25,895	
正味財産	—	80,449	—	88,374	—	97,159	
うち累積損益額	—	5,886	—	15,538	—	26,051	

目標「経営の安定化」	
中期経営計画における取組	<p>一般正味財産が平成25年度末で、△1,313千円であったが、平成26年度で解消する見込みである。今後は、公益財団法人としての基準を満たしながら、収益事業の充実により、必要な運転資金を確保し、経営を安定させる。</p>
当年度目標	<p>平成26年度に一般正味財産のマイナスが解消されてから、経営状況は年々安定してきている。平成28年度については収益事業の増収増益を目指すとともに、公益目的事業においても、新たな財源の確保に努めた。また、施設等の修繕に備え、資金の確保等の準備に着手した。</p> <p>I 収益事業の増益 II 公益事業収入の確保(京都市以外) III 修繕等の特定資産の準備</p>
当年度結果(※)	<p>収益事業の増収増益はならなかったが、一定の利益は確保できており経営は安定してきた。</p> <p>公益事業の独自収入もイベント参加費等が前年度より約1,000千円増加した。</p>

指標	一般正味財産期末残高							(単位:千円)
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	
	—		5,000		6,000		7,000	
実績	4,000	5,886	5,000	15,538	7,000	—	26,051	

(3)組織に関する取組

目標「職員研修の充実」	
中期経営計画における取組	<p>職員が、事業の企画運営、経営に必要な知識を得るため、先進事例の調査を積極的に行うとともに、森林文化のインストラクターとしての資質の向上など研修や講習会等に参加する。</p> <p>また、職員は技術の習得と視野の拡大を図るため、年間を通じて固定した業務に就くのではなく、季節や業務の繁閑、技能の程度に応じて、臨機応変に配置換えを行うものとする。</p>
当年度目標	<p>前年度に引き続き、京都市等が実施する研修会への参加と全職員への伝達研修とともに、森林文化に係るインストラクターとしての資質向上や宿泊者やイベント参加者への対応における必要な知識の習得について、協会独自の職員研修を実施する。</p> <p>I 京都市等の研修会への参加 II 協会独自の職員研修の実施</p>
当年度結果 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 京都市のコンプライアンス推進対策会議に参事が出席し、その後職員に伝達研修を行った。 京都市公務員基本理念研修受講 1名 京都府猟友会の狩猟免許試験に伴う初心者講習会への参加 1名(狩猟免許(わな)取得)

指標	研修への参加							(単位：回)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
中期経営計画	—		3		3		3	
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	3	1	3	1	3	—	3	